

みなさんは「平等」と「公平」の違いを知っていますか。「平等」とは、すべての人を同じように扱うことです。それに対して「公平」とは、一人ひとりに必要なサポートをすることです。私は、今の社会は「平等」に近いのかなと思っていました。けれども実際は、今とても「公平」に近づいていっていることが分かりました。そう思えた理由は三つあり、「障がい」が大きく関わっています。

一つ目の理由に、聴覚障がいを例として挙げてみます。聴覚障がい者には補聴器が必要です。しかしその補聴器を作ること、買うことには、とてもお金が必要です。つまり補聴器を買くと、補聴器の電池や水から守るもの、掃除をするものなど、たくさんのもものが同じように必要になってきます。これでは大変すぎます。そんな時、障害者手帳を利用することで、税金の減税、公共料金の割引、交通運賃の割引がされるようになっていきます。私はこの仕組みがとても「公平」なもので、とても理解があるものだと感じました。

二つ目の理由は、障害者サポートという仕事や支援学校があることです。障害者サポーターは、障がいのある社員をサポートするために職場内で働いたり、飛行機の中などで障がいのあるお客様をサポートしたりしてくれます。支援学校では、個々の障がいに特化した授業を受けることができます。このような場所では、みんな平等に接するのではなく、その人のことを理解すること、サポートすることを全力で行っていて、とても優しさであふれているなと思いました。

三つ目の理由は、機械がとても進化していることです。これも聴覚障がいを例にして考えてみます。補聴器は機械です。しかし補聴器をしているとイヤホンが使用できません。どんなところが進化しているかというと、補聴器をスマートフォンとつなげて、補聴器をワイヤレスイヤホンのように使うことができるようになっていきます。他にも、遠くはなれていても専用の小さいマイクに話しかければ、補聴器まで声を届けることができるようになってきています。このような進化も、どんな物にしたら役に立つかを理解して考えてくれる人がいたから出来たことです。それに時代が進化している中でも、誰一人取り残さないという思いが感じられました。

このように、三つの理由に共通している「理解すること」がとても大切なことだと分かりました。理解することでサポートができて、そのサポートが公平な社会につながり、優しさであふれるようになればいいなと思いました。

平等にするのも難しいけど、公平にする方が難しくて必要になってくることだと思うから、それができるような人になっていきたいなと思いました。同時にそれが差別になっていかなないように意識することも大事だと思ったから、あまりやりすぎないようにしようとも思いました。このようなことが、また自分や班や部活や社会に役立てばいいなと思いました。